15章　左官工事

6節 仕上塗材仕上げ

15．6．1　一般事項

この節は、建築用仕上塗材を用いる内外装の仕上工事に適用する。

15．6．2　材料

（1）　仕上塗材

（ア）　仕上塗材は、JIS A 6909（建築用仕上塗材）による。ただし、内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量は、特記による。特記がなければ、F☆☆☆☆とする。

（イ）　仕上塗材は表15.6.1により、種類（呼び名）、仕上げの形状及び工法は特記による。

（ウ）　仕上塗材の製造所において指定された色、つや等に調合し、有効期間を経過したものは使用しない。なお、下塗材、主材及び上塗材は、同一製造所の製品とする。

（エ）　内装薄塗材及び内装厚塗材で吸放湿性を有する塗材を用いる場合はJIS A 6909に基づく[調湿形]の表示のあるものとし、適用は特記による。

（オ）　内装薄塗材Wをコンクリート、セメントモルタル等のアルカリ性の下地に適用する場合は、JIS A 6909に基づく[耐アルカリ性試験合格]の表示のあるものを用いる。

（カ）　内装薄塗材Wは、JIS A 6909に基づく[かび抵抗性]の表示のあるものを用いる。

（キ）　複層仕上塗材の耐候性は、特記による。

（ク）　複層仕上塗材の上塗材は表 15.6.2により、樹脂、外観及び溶媒の種類は特記による。

（ケ）　増塗材は、主材基層塗りに用いる材料とする。

（コ）　設計図書に定められた防火材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。

表15．6．1仕上塗材の種類（呼び名）、仕上げの形状及び工法（その1）

種　類	呼び名	仕上げの形状	工　　法	所要量（kg/m²）（注)5	塗回数
薄付け仕上塗材	外装薄塗材Si	砂壁状 ゆず肌状	吹付け	下塗材(注)1　0．1以上 主材　1．0以上	1 2
		ゆず肌状 さざなみ状	ローラー塗り	下塗材(注)1　0．1以上 主材　0．6以上	1 1～2(注)6
	可とう形 外装薄塗材Si	砂壁状 ゆず肌状	吹付け	下塗材　0．1以上 主材　1．2以上	1 2
		ゆず肌状 さざなみ状	ローラー塗り	下塗材　0．1以上 主材　1．2以上	1 1～2(注)6
	外装薄塗材E	砂壁状 ゆず肌状	吹付け	下塗材(注)1　0．1以上 主材　1．0以上	1 2
		平たん状 凹凸状	こて塗り	下塗材(注)1　0．1以上 主材　0．6以上	1 1～2(注)6
		ゆず肌状 さざなみ状	ローラー塗り		
		着色骨材砂壁状	吹付け	下塗材(注)1　0．1以上 主材　1．5以上	1 2
			こて塗り	下塗材(注)1　0．1以上 主材　0．9以上	1 1～2(注)6
	可とう形 外装薄塗材E	砂壁状 ゆず肌状	吹付け	下塗材　0．1以上 主材　1．2以上	1 2
		平たん状 凹凸状	こて塗り	下塗材　0．1以上 主材　1．2以上	1 1～2(注)6
		ゆず肌状 さざなみ状	ローラー塗り		
	防水形 外装薄塗材E	ゆず肌状 さざなみ状	ローラー塗り	下塗材　0．1以上 増塗材　0．7以上 主材基層　1．0以上 主材模様　0．4以上	1 1 1～2(注)6 1
		凹凸状	吹付け		
	外装薄塗材S	砂壁状	吹付け	下塗材　0．1以上 主材　1．0以上	1 1

種　類	呼び名	仕上げの形状	工　　法	所要量（kg/㎡）（注)5	塗回数
薄付け 仕上塗材	内装薄塗材C 内装薄塗材L	凹凸状	吹付け	下塗材(注)1　０．１以上 主材　０．８以上	1 1～2（注)6
		平たん状 凹凸状	こて塗り		
		ゆず肌状 さざなみ状	ローラー塗り		
	内装薄塗材Si 内装薄塗材E	砂壁状じゅらく ゆず肌状	吹付け	下塗材(注)1　０．１以上 主材　０．６以上	1 1～2（注)6
		平たん状 凹凸状	こて塗り		
		ゆず肌状 さざなみ状	ローラー塗り		
	内装薄塗材W	砂壁状じゅらく ゆず肌状	吹付け	下塗材(注)1　０．１以上 主材　０．３以上	1 1～2（注)6
		平たん状 凹凸状	こて塗り	下塗材(注)1　０．１以上 主材　０．２以上	1 1～2（注)6

表15．６．１仕上塗材の種類（呼び名）、仕上げの形状及び工法（その2）

種　類	呼び名	仕上げの形状	工　法（注)4	所要量（kg/㎡）（注)5	塗回数
厚付け 仕上塗材	外装厚塗材C	吹放し 凸部処理	吹付け	下塗材　０．１以上 主材基層　３．０以上 主材模様　２．０以上 上塗材（注)3　０．３以上	1 1 1 2
		平たん状 凹凸状 ひき起こし かき落とし	こて塗り	下塗材（注)1　０．１以上 主材　５．０以上 上塗材（注)3　０．３以上	1 1～2（注)6 2
	外装厚塗材Si 外装厚塗材E	吹放し 凸部処理	吹付け	下塗材　０．１以上 主材基層　１．５以上 主材模様　１．５以上 上塗材（注)2　０．３以上	1 1 1 2
		平たん状 凹凸状 ひき起こし	こて塗り ローラー塗り	下塗材（注)1　０．１以上 主材　３．０以上 上塗材（注)2　０．３以上	1 1～2（注)6 2
	内装厚塗材C	吹放し 凸部処理	吹付け	下塗材　０．１以上 主材基層　３．０以上 主材模様　２．０以上	1 1 1
		平たん状 凹凸状 ひき起こし かき落とし	こて塗り	下塗材（注)1　０．１以上 主材　３．５以上	1 1～2（注)6
	内装厚塗材L	平たん状 凹凸状 ひき起こし かき落とし	こて塗り	下塗材（注)1　０．１以上 主材　２．５以上	1 1～2（注)6
	内装厚塗材G	平たん状 凹凸状 ひき起こし かき落とし	こて塗り	下塗材（注)1　０．１以上 主材　２．５以上	1 1～2（注)6
	内装厚塗材Si 内装厚塗材E	吹放し 凸部処理	吹付け	下塗材　０．１以上 主材基層　１．５以上 主材模様　１．５以上	1 1 1
		平たん状 凹凸状 ひき起こし	こて塗り ローラー塗り	下塗材（注)1　０．１以上 主材　３．０以上	1 1～2（注)6

表15．6．1仕上塗材の種類（呼び名）、仕上げの形状及び工法（その3）

種　類	呼び名	仕上げの形状	工　法（注）4	所要量（kg/㎡）（注）5	塗回数
複層 仕上塗材	複層塗材CE 複層塗材RE 複層塗材Si 複層塗材E	凸部処理 凹凸状	吹付け	下塗材　0．1以上 主材基層　0．7以上 主材模様　0．8以上 上塗材（注）7　0．25以上	1 1 1 2
		ゆず肌状	ローラー塗り	下塗材（注）1　0．1以上 主材　1．0以上 上塗材（注）7　0．25以上	1 1～2（注）6 2
	可とう形 複層塗材CE	凸部処理 凹凸状	吹付け	下塗材　0．1以上 主材基層　1．0以上 主材模様　0．5以上 上塗材　0．25以上	1 1～2（注）6 1 2
		ゆず肌状	ローラー塗り	下塗材　0．1以上 主材　1．0以上 上塗材　0．25以上	1 1～2（注）6 2
	防水形複層塗材CE 防水形複層塗材RE 防水形複層塗材E	凸部処理 凹凸状	吹付け	下塗材　0．1以上 増塗材　0．9以上 主材基層　1．7以上 主材模様　0．9以上 上塗材　0．25以上	1 1 2 1 2
		ゆず肌状	ローラー塗り		
軽量骨材 仕上塗材	吹付用軽量骨材	砂壁状	吹付け	下塗材　0．1以上 主材　厚5㎜　以上	1 1～2（注）6
	こて塗り用 軽量骨材	平たん状	こて塗り	下塗材　0．1以上 主材　厚3㎜　以上	1 1～2（注）6

（注）　1.下塗材を省略又は専用の下地調整材を用いる場合は、仕上塗材の製造所の指定による。
2.上塗材の適用は、特記による。
3.上塗材がセメントスタッコ以外の塗材の場合は、特記による。
4.工法欄の吹付け、ローラー塗り及びこて塗りは、主材の塗付けに適用する。
5.所要量は、被仕上塗材仕上げ面単位面積当たりの仕上塗材（希釈する前）の使用質量とし、製造所の指定による。
なお、表の所要量は、2回塗りの場合、2回分の使用質量を示す。
6.塗り回数は、仕上塗材の製造所の指定による。
7.複層塗材の上塗りがメタリックの場合の所要量及び塗り回数は、15.6.6(13)(ｴ)(a)による。

表15．6．2複層仕上塗材の上塗材の種類

樹脂➡	アクリル系			シリカ系	ポリウレタン系			アクリルシリコン系			ふっ素系		
外観➡ 溶媒↓	つや あり	つや なし	メタ リック	つや なし	つや あり	つや なし	メタ リック	つや あり	つや なし	メタ リック	つや あり	つや なし	メタ リック
溶剤系	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
弱溶剤系	○	○	—	—	○	○	—	○	○	—	○	○	—
水系	○	○	—	○	○	○	—	○	○	—	○	○	—

凡例 ○印：選択可能、—印：選択不可
（注）　つやなし及びメタリックは、可とう形複層塗材及び防水形複層塗材には適用しない。

（2）　下地調整塗材は、JIS A 6916（建築用下地調整塗材）による。
（3）　水は、15.3.2（2）による。
（4）　(1)から(3)まで以外の材料は、仕上塗材の製造所の指定する製品とする。